

1. 教員および授業の概要

① 教員名：寺田哲志 (TERADA Tetsushi)

② 担当科目：地域開発政策研究指導 I～IV

③ 教員のプロフィール

- ・ 島根県立大学北東アジア研究科、博士課程単位取得満期退学、博士（社会学）。

④ 所属学会（入会順）

土木学会、環境経済政策学会。

⑤ 研究領域や関心をもっているテーマ

- ・ 河川が持つ環境としての価値。
- ・ 川と人の暮らしの関わり。
- ・ 河川と水資源。

⑥ 研究指導方針

まず先行研究調査を行い、希望する研究テーマの意義や実現可能性を明確にしていく作業を行う。テーマが確定したら、受講院生が提起する問題が事実であり、立てた仮説・それを支える理論が正しいことを示していく。できれば統計データを利用した実証分析によって論文を結論づけて欲しい。

受講院生は、授業において研究の進展を報告し、教員や他の院生と議論しながら研究を進めていく。

⑦ 指導可能な研究テーマ（あるいは過去（現在）に指導した研究テーマ）

- ・ 河川と水資源の経済学的な研究。
- ・ 川と人の暮らしに関する環境社会学的な研究。

2. 研究業績リスト

① 著書

- ・ 「日本への輸入農産品に体化する仮想的な土地と水資源量に関する考察：市場原理による資源配分と水資源環境への影響」、秋葉まり子編『グローバルイゼーションの中のアジアー新しい分析課題の提示ー』弘前大学出版会（2013）第6章 p141-166 を担当。

② 論文

- ・ 「水資源危機の構造と統合型水資源管理の有効性」『北東アジア研究』第14・15合併号（2008）。

- ・ 「持続可能な水利用のための統合型水資源管理の有効性」 博士論文（2009）
- ・ 「河川環境価値の計測－ヘドニック法による推計と地価変動による影響のパネル分析－」『総合政策論争』第22号（2011）。
- ・ 「都市河川の環境便益の定数化－公共事業予算の有効配分を目的とする推計－」『総合政策論争』第29号（2015）。

③発表

「人々の暮らしと高津川の繋がりから探る地域の魅力－ 地域域活性化のための基礎的調査1（川の地名調査）」

地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）第2回全域フォーラム（2014）

3. 学生に対するメッセージ

皆さんの大学院における目的は、修士学位を取得して自分の将来に繋げることだと思います。その目的を達成するために、主体的に学び研究する姿勢を持ってください。やる気が無い学生は、誰にも助けることができません。研究する価値があり真剣に取り組めるテーマを、出来るだけ早く見つけ出したいものです。